

夜間集会 Part 2 (11月21日(土) 12:10~13:55)

「日本地球化学会の今後の10年」

日本地球化学会将来計画委員会  
委員長 南 雅代

司会：益田晴恵 副会長

1. Geochemical Journal (GJ) の目指す姿：35分（鈴木勝彦 GJ 編集委員長から話題提供、発表15分、質疑20分）
2. 2026年 Goldschmidt 国際会議招致について：35分（横山哲也 国際対応委員長から話題提供、発表15分、質疑20分）
3. 新型感染症下における学会の役割とは：25分（谷水雅治・川口慎介 将来計画委員から話題提供、発表15分、質疑10分）
4. 総合討論：10分

今年9月の総会の後に開催した夜間集会での議論に引き続き、「GJの目指す姿」、および「2026年 Goldschmidt 国際会議招致について」の議論を行う。まず1つ目に関して、GJの目指す姿を明確にし、持続可能なGJの運営・出版形態を構築することが重要である。これらに対する会員の提案、要望、意見を募りたい。

2つ目に関して、2026年に日本で Goldschmidt 国際会議を開催するメリット・デメリットについて整理し、開催候補国として手を挙げるべきかどうか、Goldschmidt 国際会議とどのようにかかわっていくべきかについて、忌憚のない意見交換を行う。Goldschmidt 国際会議に限らず、学会の国際交流の在り方についても議論したい。

最後に、新型コロナ禍により、現在、教育・研究環境が大きく変化している。大学・研究機関の現状に関する情報交換を行い、このコロナ禍の中、学会ができること、やるべきことについて意見交換を行う。

今回は、夜間集会をお昼に開催するというはじめての試みである。これまで以上に活発な意見交換・議論を期待する。

なお、開催はオンライン（年会の ZOOM A 会場）を予定しています。URL は前日までにアナウンスいたします。